

令和7年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	日本史探究	学 年	第3学年	学 科 類 型	普通科文系
単位数	2 単位	教科書	詳説日本史（山川出版社）				
副教材	新詳日本史（浜島書店）、要点整理ゼミナール日本史（浜島書店）						

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。
------	---

キャリア教育の視点	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めます。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第9章 幕藩体制の成立と展開	近世がどのような時代であったのかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解する。 近世の幕末期から現代までを扱い、世界の情勢の変化とその中における日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的・多角的に考察し理解する。	中間考査
	5月	第10章 幕藩体制の動揺		
	6月	第11章 近世から近代へ		期末考査
	7月	第12章 近代国家の成立		
		第13章 近代国家の展開		
2 学 期		第14章 近代の産業と生活	現代の日本の諸課題について多面的・多角的に考察して理解する。	
		第15章 恐慌と第二次世界大戦		
		第16章 占領下の日本		
		第17章 高度成長の時代		
	8月	第18章 激動する世界と日本		
3 学 期	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			

学習の方法	板書を写したり、ノートの空欄に用語を記入したりするだけでなく、歴史の流れや事象の関係を理解しながらまとめることが大切です。年代や用語の確認にとどまらず、教科書や資料集の図版を参考にして、学習を深めていきます。
-------	--

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、定期考査の得点と平常点で算出します。
-------	--

備考	週当たり4時間単位で、4月から8月まで延べ70時間実施します。
----	---------------------------------